

# 平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 評価集計表

番号	実 施 計 画		評価委員会による評価									
	項 目	具 体 的 な 内 容	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員
1	教育コースの企画運営	地域がん専門医療人(臨床腫瘍医、放射線治療医、緩和医療医、医学物理士、看護師、薬剤師)を養成するための教育コース及び高度ながん研究能力を有するがん研究者養成のためのコースの企画運営を行う。	B	B	B	B	B	B				
2	専門看護師及び専門薬剤師のインテンシブコースの企画運営	旭川医科大学では、緩和ケアリンク看護師を養成するための「地域エンドオブライフケア推進看護コース」、北海道医療大学では、がん医療に関わる薬剤師を養成するための「地域がん医療薬剤師コース」の企画運営を行う。	B	A	B	B	A	B				
3	がんに特化した講座の運営	3大学で設置した、がんに特化した講座(「がん疼痛緩和医療学講座(札医大、H25.4設置)」、「放射線治療医学分野(北大、H24.10設置)」、「地域がん診療連携講座(旭医大、H24.10設置)」)の円滑な運営を図る。	A	A	A	A	A	A				
4	地域における合同キャンサーボード、特別セミナーの開催	4大学共同の取組として、地域医療機関に出向きキャンサーボードへの参加やセミナーを開催することにより、地域の医療レベルや患者・家族の状況に応じたがん診療の提供や療養支援が出来る人材を養成する。また、本合同キャンサーボード、セミナーは、地域がん診療に従事している医師、看護師、薬剤師、医学物理士、放射線技師、医療ソーシャルワーカーなど、多職種にわたるがん専門医療人を対象として行い、地域がん診療が出来るチーム連携能力の高いがん専門医療人を育成する。	B	A	B	A	A	A				
5	市民公開講座の開催	市民に対して、医療の最新情報や最先端のがん医療、がんの疼痛緩和ケアの情報を提供し、がん医療の現状を知ってもらうとともに、本プランに対する理解を深めてもらう。	A	B	A	A	A	A				
6	専用Webサイトの管理運営	本プランの概要や各コース内容、募集要項、がん医療に関する各種講演会や市民公開講座の開催状況、研究実績などを発信し、本プランに対する理解を深めてもらう。	A	A	A	B	A	A				
7	各大学独自の取組	本プランの推進に当たり、各大学で独自にセミナーやカンファレンスを行い、医療関係者にがんに関する様々な知識を提供する。	A	A	A	A	A	A				
8	4大学によるがんプロ事業マネジメント	4大学のがんプロ関係者が参集する「養成基盤推進ボード」を開催し、昨年度の取組及びその反省点を踏まえて、当該年度のがんプロ事業の実施方法を議論、改善を図る。 また、評価委員会では、当該年度の事業実績について、評価委員から客観的な視点による評価を得ることにより、次年度以降の円滑な事業実施に繋げる。	A	A	A	A	A	D				
各評価委員による総合評価 Aが6項目以上で「Ⅳ」 Aが4～5項目で「Ⅲ」 Aが2～3項目で「Ⅱ」 Aが0～1項目で「Ⅰ」			Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ				
評価委員会の評価			「Ⅲ」:おおむね順調に進んでいる									